

【嘉麻市子どもの生活状況調査】

調査設計

調査対象	①市内の小学生（４～６年生）及び義務教育学校（４～６年生）本人 ②市内の中学生及び義務教育学校（７～９年生）本人 ③上記の児童生徒の保護者
調査方法	○小学校・中学校及び義務教育学校を通じた調査票の配布・回収（郵送による礼状兼協力依頼ハガキ１回使用） ・保護者分の調査票は、配布封筒の中に同封する ・児童生徒及び保護者の記入済調査票は、プライバシーを確保するために個別の返信用封筒に封入してもらう ○児童生徒と保護者の紐付け対応実施 ・児童生徒と保護者の紐付けを実施することで、双方の生活状況に対する捉え方を把握することができ、今後の嘉麻市こども計画策定時に、基礎データの１つとして使用することを考える。 ・調査対象となる児童生徒及び保護者に対し、その１人１人にIDを付与し、調査票にID表記を行う また、調査物件の入れ違い等防止のため、宛名ラベルにもID表記を行い、調査票と付合せを行いながら封入・封緘する
標本数 想定回収数	標本数：①+② 1,900サンプル ③ 1,400サンプル 想定回収数（率）：1,650サンプル（50.0%）
調査票仕様	詳細は別紙にて
調査期間	学校から児童生徒への配布日：令和５年１０月上旬 学校による回収期日：令和５年１０月下旬